

平成29年度第1回鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会
福祉サービス部会会議録

日 時 平成30年2月8日（木）午後2時00分～午後3時15分

場 所 鎌ケ谷市役所地下1階 団体研修室

出 席 松村幸江部会長、山根清孝副部会長、飯高優子部会員、櫻井朱実部会員、
佐藤弘江部会員、木藤直美部会員、松村桂子部会員、入野美弥子部会員、
伊藤英史部会員（障がい福祉課主査）

欠 席 柳生操部会員、小宮裕子部会員、田辺佳子委員、平野明美部会員
事務局（障がい福祉課）星直子庶務係長、中村浩主任主事、（鎌ケ谷市基幹相
談支援センター）渡辺恵美子所長、馬場武士相談員

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・ 式次第
- ・ 資料1 鎌ケ谷市基幹相談支援センターリーフレット
- ・ 資料2 部会編成イメージ図
- ・ 資料3 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会「地域連携部会」設置に関わる地域課題の抽出、整理のためのワークショップの開催について
- ・ 資料4 平成29年度鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会研修会のお知らせ

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、出席者数が会議開催の定足数である過半数を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

<部会員の変更について>

千葉県立松戸特別支援学校より選出されていた山澤光史氏に代わり、同校より松村桂子氏が選出され、本日から平成30年3月31日までの任期で選任された旨報告した。

2 報告事項

(1) 鎌ヶ谷市基幹相談支援センターについて

事務局より、鎌ヶ谷市基幹相談支援センター（以下「基幹相談支援センター」という。）の利用方法などについて資料1のとおり説明した。

(2) 専門部会等の改編案について

事務局

平成29年度は、基幹相談支援センターの立ち上げと、第5期障がい福祉計画の策定が重なったため、これまで専門部会の会議開催を休止していた。この休止期間中に、鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）の正副会長及び各専門部会の正副部会長に協力いただき、専門部会の運営での問題点について意見交換を行い、そこで出された意見をもとに作成したのが資料の改編案である。現在平成30年度からの専門部会の改編に向けて検討を行っている。

資料2及び資料3について説明。

地域の課題やニーズの抽出を専門的に行う「地域連携部会」の新設が今回の改編のポイントの1つになるが、地域の課題やニーズをどのように抽出して検討していくのが良いのかという運営方法については、まだ詰めきれていない部分が多い。そこで、試みとして、障がい福祉に関わる市内の事業所、団体に広く声を掛けて、資料3のとおりワークショップを開催することとした。ワークショップを通じて運営方法を探っていきたいと考えている。

部会員

地域連携部会の具体的なイメージが湧かない。

事務局

ここで具体的なイメージをお示しできればいいが、図に示した通り、地域の課題やニーズの抽出を専門的に行う部会という方向性しか決まっていない。どのように個別の課題を収集し、それをどのように地域の課題として整理していくかが、運営面の大きな課題である。今回開催するワークショップが、その手法を考えるうえでの試みの一つにな

ると考えている。

部会員

ワークショップで何をやるのか。

事務局

まず、個別の課題を出し合い、地域の課題を整理するところまでできればいいと考えている。ワークショップを通じて地域の課題が上手く整理できれば、地域連携部会の課題抽出の方法は、ワークショップになるかもしれないし、ワークショップで反省点が見いだされれば、やり方をアレンジしたり、方法を変えたり、どういう形がいいのか検討していきたいと考えている。また、ワークショップを行うことで、関係者が一同に会し顔が見える関係になれば、地域連携部会という名前が示す通り、連携の第一歩になるのではないかと考えている。

部会員

福祉サービス部会は改編案のどの部会に入るのか。

事務局

既存の部会がどこかに入るというイメージよりも、現行の部会を一度なくして真っ白な状態から、改編案を指針として新たな形を構築していくというイメージの方が理解しやすいと思う。新設する地域連携部会について言えば、現行の全ての部会よりも対象とする範囲が広がるので、現行の部会を包含するともいえる。現在ご協力いただいている皆さんはもちろん、これまで以上に各方面から協力をいただく必要があると考えている。

<その他の意見>

- ・ 漠然としているところはあるが、ワークショップのような形で集まって話せる機会があることはいい方向だと思う。
- ・ いろいろな事業所や団体が集まって、意見交換できる機会があればいいと思っていたので、いい動きだと思う。
- ・ 以前から鎌ヶ谷市にも就労支援部会があればいいと感じていたので、実現すれば良いと思う。
- ・ 意見交換の場だけではなく、勉強会や研修会に発展すれば良いと思う。当事者や家族なども意見交換できる場があればさらに良いと思う。

3 その他

事務局より、資料4をもとに協議会の研修会について説明した。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成30年3月9日

氏名 飯高 優子

氏名 伊藤 英史